

令和5年5月26日（金）
都市センターホテル コスモスホール
（オンライン併用）

全国医学部長病院長会議
令和5年度定例社員総会
議 事 録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
令和5年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和5年5月26日 13時30分～18時00分
2. 開催場所 東京都千代田区平河町2-4-1
都市センターホテル コスモスホール
3. 会員(社員)総数 164名
4. 出席会員(社員) 164名(うち委任状出席 15名。
また、51名はWEB会議システムによる出席)
5. 出席理事 横手幸太郎、松村 到、畠山鎮次、田中 誠、種市 洋、小湊慶彦、
小風 暁、寺内康夫、木村 宏、笠井謙次、夜久 均、細井裕司
篠田 晃、降幡睦夫、赤司浩一、菱川善隆、南谷佳弘、松本守雄、
近藤晴彦、富田善彦、蒲田敏文、秋山治彦、眞庭謙昌、香美祥二、
田中文啓、三股浩光、八重樫伸生、坂本哲也
(以上30名中28名出席。小風理事、赤司理事、富田理事、蒲田理事、
田中理事、八重樫理事、坂本理事はWEB会議システムによる出席。)
6. 出席監事 新井 一、稲垣暢也(稲垣監事はWEB会議システムによる参加)
7. 議長 会長 横手幸太郎
8. 議事録作成者 会長 横手幸太郎
9. 議事の経過の要領及びその結果

上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 横手 幸太郎 は 定款の規定により議長席に着き開会を宣し、WEB 会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

[会長報告]

会長から、前回の令和4年5月27日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告があった。

[確認事項]

前回の令和4年5月27日定例社員総会議事録の確認が行われた。

[講演会]

- (1) 医師の働き方改革について /日本医師会 松本 吉郎 会長
- (2) 医学教育の現状と課題 /文部科学省 俵 幸嗣 医学教育課長
- (3) 医師の働き方改革と医師確保について /厚生労働省 山本 英紀 医事課長
- (4) 臨床医学担当職員の人事交流に関するご案内
/独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 藤原 康弘 理事長

[報告事項]

報告1：令和4年度事業報告について

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、4月28日開催の理事会において承認された、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）における本会議の事業状況について、別紙に基づき詳細に報告を行った。

[審議事項]

第1号議案 令和4年度決算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）における本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 新井 一と稲垣暢也は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第2号議案 令和5年度事業計画承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第3号議案 令和5年度収支予算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第4号議案 理事の選任について

議長は、辞任理事の後任者を補欠選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

記

就任理事	前任者	所属大学名
袴田 健一	大山 力	弘前大学医学部附属病院
石井 直人	八重樫 伸生	東北大学
澤村 成史	坂本 哲也	帝京大学医学部附属病院
武中 篤	原田 省	鳥取大学医学部附属病院

但し、任期は定款の規定により、前任者の任期満了する時までとする。

[委員会報告事項]

以下の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

(1) 医学教育委員会／南學 正臣 委員長

令和4年度は、共用試験検討委員会と連携しながら共用試験の公的化について対応していたが、今年度の後半では、公的化された共用試験が実際に実施されどうという問題点があるのか、また、それについて、国とCATOとどのように議論していくのかについて検討する旨の説明があった。また、新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に変更されたことに伴い、医学教育の体制が各大学でどのように変わったのか把握するための実態調査を行う予定である旨の説明があった。

(2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会／東田 修二 委員長

令和4年、令和5年の医学部入試を対象とし、テーマを性差別や浪人年数の問題に捕らわれず、新たに医学部入試の在り方の問題点を委員の間で再検討し、アンケート調査を実施予定である旨の説明があった。

(3) 専門医に関するワーキンググループ／古川 博之 座長

昨年、専門医機構の理事長と理事が大きく入れ替わったため、緊急でワーキンググループを開催し対応について検討した旨の報告があった。サブスペについては引き続き機構にて協議されている、新たな問題としては地域枠の離脱者への対応について機構で議論がなされている旨の報告があった。また、機構の財政問題についても注視していきたい考えが示された。

AJMCの推薦で機構理事に就任している慶應大学の金井医学部長からも、現在の機構の理事会の状況について情報提供があった。

(4) 広報委員会／金井 隆典 委員長

4月28日の理事会終了後に記者会見を開催した旨の報告があった。また、ホームページの充実化、広報誌のあり方について検討しており、広報誌については記録集ということに留まらず社会に発信するような取組みをしたい旨の考えが示された。

(5) 共用試験検討委員会／佐藤 慎哉 委員長

共用試験公的化への対応として、特にOSCEの課題数、認定評価者の確保、標準模擬患者の確保、身体診察における医学生の参加、医療面接を担当する標準模擬患者の認定等について、三者懇談会あるいはCATOの理事会、医道審議会の医学生共用試験部会等々においてAJMCの立場を主張してきており、5月11日付で厚労省、文科省、CATOに対して要望書を提出した旨の報告

があった。この要望書では、評価者の配置基準、外部評価者の派遣、認定評価者講習会、大学とのコミュニケーションについて要求している。また、今年度の前半は公的化された共用試験の準備状況、そして後半には1回目の公的化共用試験後の問題点を把握し、CATO や厚労省、文科省への改善要求を医学教育委員会と連携して行う予定である旨の説明があった。

つづいて、提案議題があった地区より地区部会での検討内容について発言があり意見が交わされた。

東海・北陸地区の山口医学部長（岐阜大学）より、認定評価者や外部評価者の負荷、認定 SP・模擬患者の養成条件緩和の要望、試験実施施設設置の要望について説明があった。

九州地区の菱川医学部長（宮崎大学）より、模擬患者の確保及び OSCE 認定評価者講習会の地方開催の要望について説明があった。

関東地区の北川学長（聖マリアンナ医科大学）より、海外からの交換留学生のクリニカルクラークシップへの対応について意見があった。

(6) 卒後臨床研修検討ワーキンググループ／大嶋 勇成 座長

令和4年度は医師臨床研修制度に対するアンケートを実施した旨の報告があった。今後は、令和7年度の臨床研修制度の見直しに向け、医師臨床研修部会の議論を受け必要であれば部会へ提言を行う予定としている旨の説明があった。

(7) 研究・医学部大学院のあり方検討委員会／熊ノ郷 淳 委員長

研究医学の大学院をどういうふうに進めていくかに関しては、学部教育の問題、大学院生をいかに大学に呼び戻してくるか、働き方改革を含めた大学病院のあり方がポイントであるとの考えが示され、各大学の取組みを情報共有するようなアンケートを実施し議論していきたい旨の説明があった。

(8) 動物実験検討委員会／木村 宏 委員長

令和7年に動物愛護管理法が改定するため、委員会に文科省ライフサイエンス課の担当者を招き、かねてから AJMC で推奨している共通基本指針の策定について検討するための委員会を開催する予定である旨の説明があった。

(9) 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会／大屋 祐輔 委員長

例年のとおり、地域枠制度、地域医療センターの現状、地域枠入学制度の一覧表、地域枠学生の転帰についての調査を実施し、その結果に応じて、大学、自治体、支援センターの担当者による意見交換会を実施した旨の報告があった。

(10) 患者安全推進委員会／坂本 哲也 委員長

医療事故調査制度に関するアンケート調査の実施を本年度も予定しており、無過失補償制度、医療と刑事司法の関わり方について継続して検討する予定である旨の説明があった。

(11) 大学病院の医療に関する委員会・DPC（包括評価支払制度）に関するワーキンググループ

／富田 善彦 委員長

令和4年の診療報酬改定に伴う実態について、厚生労働省の担当者も含めた意見交換を実施した旨の報告があった。また本年4月に医療機関別係数調査を実施した旨の報告があり、これまでの経年変化を交えた結果について説明があった。今後は令和6年の診療報酬改定に向けて要望していく予定である。

(12) 経営実態・労働環境ワーキンググループ／相良 博典 座長

2年に1回、診療報酬改定の間年間に実施している大学病院経営実態調査を、本年に実施予定である旨の報告があった。

(13) 臨床研究・利益相反検討委員会／寺内 康夫 委員長

臨床研究法に関するアンケート調査、製薬企業等からの謝金等の受領の在り方に関する検討のアンケート、組織COIの現状に関するアンケートを実施した旨の報告があり、結果について説明があった。また、AJMCが掲げている臨床研究および利益相反に関するガイドラインについて、関係諸団体と協議連携しながら改定作業を進めたい旨の説明があった。

(14) 男女共同参画推進委員会／唐澤 久美子 委員長

新型コロナウイルス感染症と働き方改革に伴う男女共同参画環境の変化の実態調査を大学と医師個人を対象に実施し、医師4,644名から回答が得られた旨の報告があり、結果について説明があった。

(15) 新型コロナウイルス（COVID-19）に関わる課題対応委員会／瀬戸 泰之 委員長

本年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症になったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査、新型コロナウイルス感染症に関する緊急包括支援交付金等受給状況調査を継続して実施した旨の報告があった。また、昨年7月に「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に備えるための対応の方向性に関する要望」、本年2月に「皆の健康を守る医療を維持するためにー新型コロナウイルス5類に向けてー」の要望書を提出した旨の報告があった。

(16) 医師の働き方改革検討委員会／馬場 秀夫 委員長

定期的に厚生労働省と文部科学省と意見交換を行い、医師の働き方改革に関するアンケート調査の実施、医師の働き方改革セミナーの開催を行った旨の報告があった。これらの結果や検討内容を基に、国会議員へも働きかけている。また、昨年度は文科省の委託事業を受託し、「大学病院における医師の働き方に関する調査」を実施し、その調査研究の報告のため4月28日に記者会見を開催し、医師の働き方改革に向けて必要な財政支援等について説明した旨の報告があった。また、会員に対し、今後取り組むべきものとして、医療機関勤務環境評価センターの受審、可能な限りの外勤先の宿日直許可の取得、長時間労働医師に対する面接指導體制の整備、C-2水準の申請の促進について説明があった。

つづいて、提案議題があった地区より地区部会での検討内容について発言があり意見が交わされた。

東北・北海道地区の上野医学部長（山形大学）より、医師の働き方改革に関する自治体との連携の必要性について説明があった。

(17) 医学部・医科大学の白書調査委員会／羽瀨 友則 委員長

2年に1度実施している白書調査を令和4年度に実施し、報告書にとりまとめた旨の報告があった。冊子は6月上旬に発刊予定である。前回調査時は教育を受ける側として学生を対象としたアンケートを実施したが、今回は臨床研修医を対象としたアンケートも実施し、学生や臨床研修医の意見や考え方を白書に盛り込んだ旨の説明があった。

(18) カリキュラム調査委員会／伊野 美幸 委員長

2年に1度実施しているカリキュラム調査を今年度に予定している旨の説明があった。

[地区部会報告 提案議題]

- (1) OSCEの公的化に伴う対応について
／東海・北陸地区（説明者：岐阜大学 山口 瞬 医学部長）
- (2) 共用試験OSCEにおける模擬患者の確保及びOSCE認定評価者講習会の地方開催の要望について
／九州地区（説明者：宮崎大学 菱川 善隆 医学部長）
- (3) 海外からの交換留学生などのクリニカルクラークシップへの対応について
／関東地区（説明者：聖マリアンナ医科大学 北川 博昭 学長）
- (4) 医師の働き方改革に関する自治体との連携について
／東北・北海道地区（説明者：山形大学 上野 義之 医学部長）

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和5年5月26日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

横手 幸太郎

